

札幌市生涯歯科口腔保健推進計画「さっぽろ8020推進プラン」評価

1 重点施策 かかりつけ歯科医をもつ人を増やします

対象：全ライフステージ

○指標（目標値）及び進捗

No.		現状値	目標値
1-1	かかりつけ歯科医のいる1歳6か月児の割合	32.0% (H28)	45%
1-2	かかりつけ歯科医のいる3歳児の割合	65.9% (H28)	75%
1-3	定期的に歯科健診を受ける人の割合（18歳以上）	19.2% (H26)	30%

No.	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4
1-1			32.0	33.0	31.6	35.5	37.5	35.5	30.8
1-2			65.9	66.1	64.8	71.0	69.5	68.7	70.2
1-3	19.2					37.5			39.7

○1-1（かかりつけ歯科医のいる1歳6か月児の割合）

○1-2（かかりつけ歯科医のいる3歳児の割合）

計画開始時より、概ね上昇する傾向にあったが、令和2～3年度以降は新型コロナウイルス感染症の影響かどうかは判然としないが、低下若しくは伸び率の鈍化がみられ、目標値の到達には至らなかった。今後もかかりつけ歯科医における定期的な歯科健診やフッ化物塗布の普及を図るため、引き続き、かかりつけ歯科医の普及に努めていく必要がある。

○1-3（定期的に歯科健診を受ける人の割合（18歳以上））

計画策定時の19.2%から令和4年度は39.7%と大幅に改善し、目標値を上回った。しかし、厚生労働省が実施した平成28（2016）年度の国民健康・栄養調査では「過去1年間に歯科検診を受けた者」は52.9%であり、全国値に比べ依然としてかなり低い状態にあり、さらなる改善を目指していく必要がある。

札幌市生涯歯科口腔保健推進計画「さっぽろ8020推進プラン」評価

2 重点施策 むし歯や歯肉炎のない子どもを増やします

対象：乳幼児期・学齢期

○指標（目標値）及び進捗

No.		現状値	目標値
2-1	むし歯のない3歳児の割合	83.3% (H26)	90%
2-2	むし歯のない12歳児の割合	54.5% (H27)	65%
2-3	むし歯になるおそれのある1歳6か月児（O ₂ 型）の割合	32.9% (H26)	20%
2-4	歯肉炎のある12歳児の割合	2.6% (H27)	2%

No.	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4
2-1	83.3	83.4	85.4	85.5	87.3	88.5	89.6	91.6	
2-2		54.5	57.1	57.1	60.7	60.3	65.7	65.9	
2-3	32.9	31.7	32.2	30.6	33.1	32.3	29.8	29.5	
2-4		2.6	2.8	2.8	2.0	1.8	2.0	2.2	

○2-1（むし歯のない3歳児の割合）

○2-3（むし歯になるおそれのある1歳6か月児（O₂型）の割合）

むし歯のない3歳児の割合については、増加傾向にあり目標値90%を上回った。また、全国平均と比べても上回って推移している。一方で、多数歯う蝕のある者（4本以上503人、10本以上58人）も一定数認められる状況であり、今後は健康格差の縮小の視点も重要と考えられる。むし歯になるおそれのある1歳6か月児（O₂型）の割合については、微減であり目標値を上回っている状況であり、さらなる改善を図る必要がある。

○2-2（むし歯のない12歳児の割合）

○2-4（歯肉炎のある12歳児の割合）

むし歯のない12歳児の割合については、増加傾向にあり目標値65%を上回ったものの、全国平均（R3年71.7%）を下回る状況は続いており、さらなる改善を図る必要がある。

歯肉炎のある12歳児の割合については、おおむね目標値に到達している。

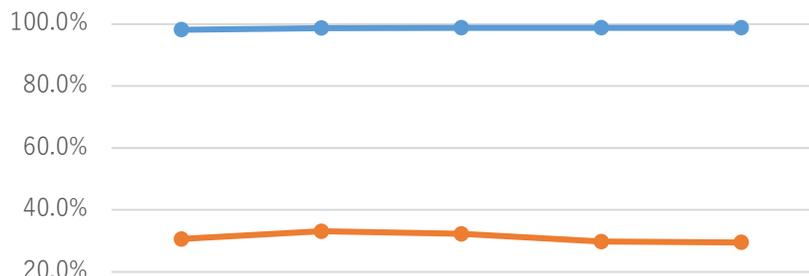
札幌市生涯歯科口腔保健推進計画「さっぽろ8020推進プラン」評価

2 重点施策 むし歯や歯肉炎のない子どもを増やします

対象：乳幼児期・学齢期

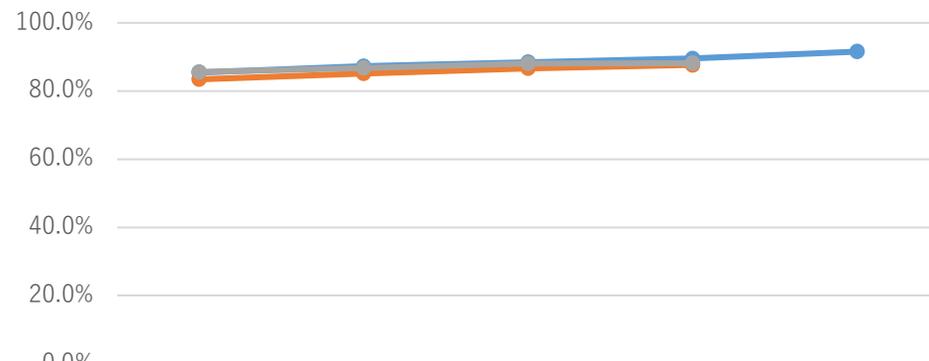
○乳幼児期、学齢期う蝕状況推移

1歳6か月児歯科健診結果とO₂型の推移



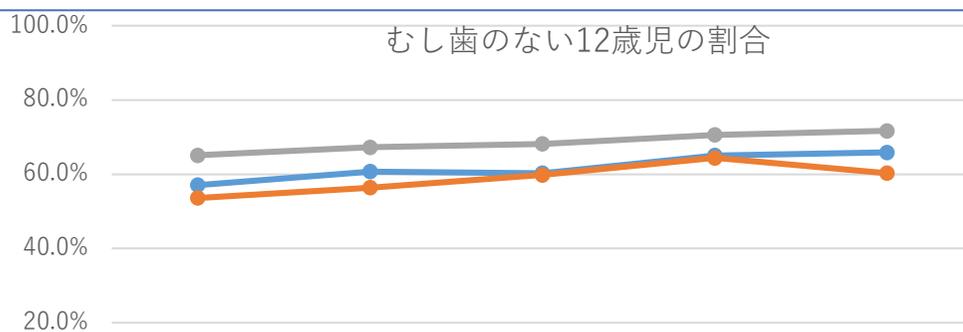
	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
むし歯のない割合	98.2%	98.7%	98.8%	98.8%	98.8%
O ₂ 型	30.6%	33.1%	32.3%	29.8%	29.5%

むし歯のない3歳児の割合



	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
札幌市	85.5%	87.3%	88.5%	89.6%	91.6%
北海道	83.5%	85.2%	86.7%	87.7%	
全国	85.6%	86.8%	88.1%	88.2%	

むし歯のない12歳児の割合



	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
札幌市	57.1%	60.7%	60.3%	65.1%	65.9%
北海道	53.6%	56.4%	59.8%	64.4%	60.3%
全国	65.1%	67.3%	68.2%	70.6%	71.7%

健康格差の状況

- ・ 3歳児で多数歯う蝕のある者（令和3年度）
4本以上503人、10本以上58人
- ・ 10本以上のむし歯のある子供がいる小学校の割合 47.6%
（2018年 札幌歯科医師会調査）

札幌市生涯歯科口腔保健推進計画「さっぽろ8020推進プラン」評価

③ 基本施策 むし歯や歯周病のある人を減らします

対象：妊娠期・成人期

○指標（目標値）及び進捗

No.		現状値	目標値
3-1	妊婦歯科健診の受診率	4.3% (H26)	8%
3-2	40歳で歯周炎を有する人の割合	48.5% (H27)	37%
3-3	50歳で歯周炎を有する人の割合	53.5% (H27)	45%
3-4	60歳で歯周炎を有する人の割合	55.4% (H27)	45%
3-5	60歳で24本以上歯を有する人の割合	79.7% (H27)	90%
3-6	さっぽろ市歯周病検診の受診率	1.9% (H27)	10%

No.	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4
3-1	4.3	4.9	4.8	5.0	5.0	5.0	4.4	5.4	
3-2		48.5	48.4	49.1	50.2	47.7	46.0	44.0	
3-3		53.5	55.4	54.9	57.9	54.4	52.5	53.1	
3-4		55.4	60.6	59.9	61.0	57.5	53.9	60.8	
3-5		79.7	77.3	80.2	80.1	85.7	82.2	86.3	
3-6		1.9	3.9	3.8	3.46	3.37	2.27	2.88	

札幌市生涯歯科口腔保健推進計画「さっぽろ8020推進プラン」評価

③ 基本施策

むし歯や歯周病のある人を減らします

対象：妊娠期・成人期

○3-1 (妊婦歯科健診の受診率)

妊婦歯科健診については、受診率は若干増加しているものの、目標値は下回っており、引き続き受診率増加に向けて啓発等に取り組む必要がある。

○3-2 (40歳で歯周炎を有する人の割合)

○3-3 (50歳で歯周炎を有する人の割合)

○3-4 (60歳で歯周炎を有する人の割合)

歯周炎を有する人の割合については、40歳では改善の傾向が続いているものの、50歳についてはほぼ横ばい、60歳については、むしろ悪化している状況。データについては、札幌市歯周疾患検診の受診者であるため、もともと症状のある方が受診している可能性がある他、高齢になっても歯の本数が増加していることにより、歯周病の罹患者が増えている可能性もある。しかし、いずれにしても今後も引き続き改善に向けて歯周疾患の対策が重要である。

○3-5 (60歳で24本以上の歯を有する人の割合)

60歳で24本以上の歯を有する人の割合については、目標値90%には及ばなかったものの、目標値に近い86.3%までは改善された。引き続き、目標値達成に向けて取り組む必要がある。

○3-6 (さっぽろ市歯周病検診の受診率)

さっぽろ市歯周病検診は平成27年度の途中より対象者へ個別の案内送付を開始し、平成28年度には伸びが見られたが、令和2年度以降は新型コロナウイルス感染症による受診控えと思われる受診率の低下もあり、その後回復しきっていない状況。今後も引き続き受診率の向上に向けた取り組みが必要である。

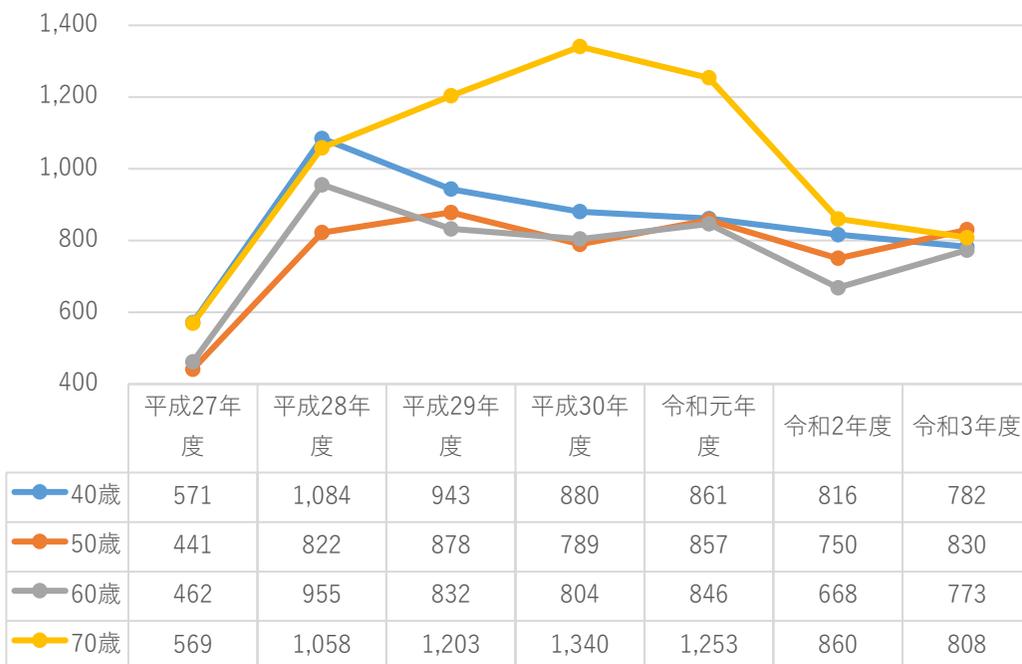
札幌市生涯歯科口腔保健推進計画「さっぽろ8020推進プラン」評価

3 基本施策

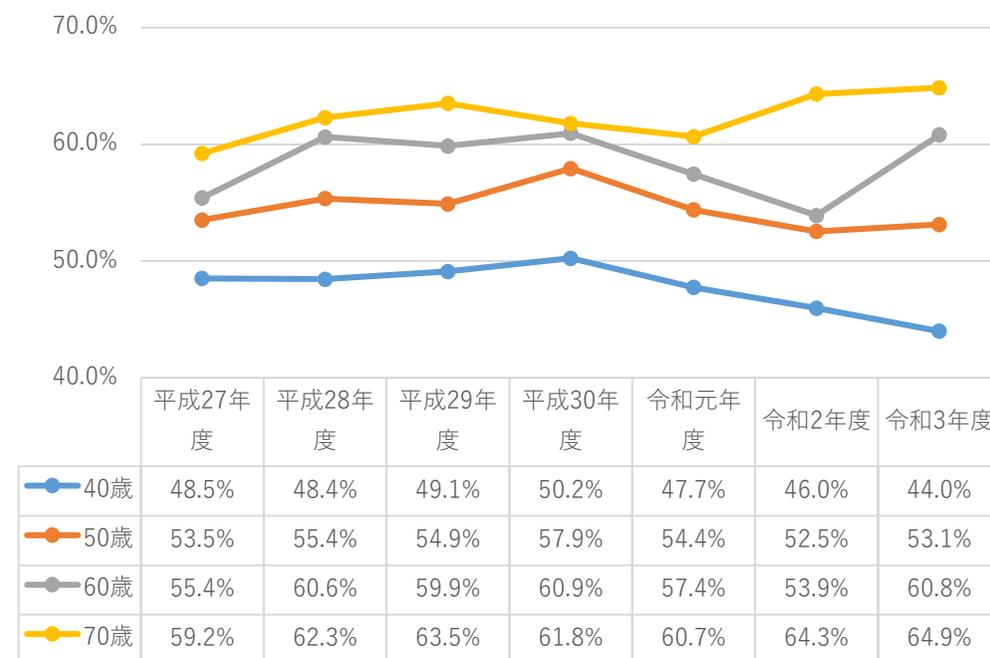
むし歯や歯周病のある人を減らします

対象：妊娠期・成人期

○歯周疾患検診受診者数の推移



○歯肉炎を有する割合の推移



○受診者数について

平成27年度の秋から、受診者数の向上を目指して、対象年齢の方に個別通知の発送を開始している。年度を通じた発送を初めて行った平成28年度に大幅に上昇しており、検診の周知と受診者数の動きに明確な相関関係が見て取れる状態。平成29年度以降、70歳の受診者数は伸長しているものの、60歳は横ばい、50歳、40歳は逡減が見られる。70歳も新型コロナウイルス感染症が拡大した令和2年度に大幅に減少し、令和3年度時点でも回復されていない。

○歯肉炎を有する人の割合について

40、50、60歳については、前項の3-2~3-4のとおり70歳は全体を通じてやや割合が増加している。理由としては60歳と同様にもともと症状のある方が受診している可能性や、高齢になっても歯の本数を多く有している方が増加していることにより、相対的に歯周病の罹患者が増えている可能性がある。また、令和2年度以降の受診者数の減少とあわせて割合が増加している。

札幌市生涯歯科口腔保健推進計画「さっぽろ8020推進プラン」評価

4 基本施策

高齢になっても自分の歯を有し、食べる力が良好な人を増やします

対象：高齢期

○指標（目標値）及び進捗

No.		現状値	目標値
4-1	自分の歯を20本以上有する70歳以上の人の割合	39.7% (H26)	50%
4-2	口腔がんを自分で発見できている人の割合 60歳以上	33.6% (H26)	50%
4-3	70歳代で咀嚼が良好な人（咀嚼良好者）の割合	—	75%
4-4	70歳代で飲み込む機能が良好な人の割合	—	85%

No.	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4
4-1	39.7					42.6			43.6
4-2	33.6					34.2			31.0
4-3				66.3					63.6
4-4				74.8					73.4

- 4-1（自分の歯を20本以上有する70歳以上の人の割合）
- 4-2（口腔がんを自分で発見できている人の割合 60歳以上）
- 4-3（70歳代で咀嚼が良好な人（咀嚼良好者）の割合）
- 4-4（70歳代で飲み込む機能が良好な人の割合）

自分の歯を20本以上有する70歳以上の人の割合については、目標値50%を下回っている。歯の本数をアンケートにより回答する方法であるため歯科健診に比べて正確性は劣る可能性があるが、国の目標値である80歳で20本以上の歯がある者の割合は50%を上回っており、今後も引き続き目標値達成に向けて取り組む必要がある。

口腔がんを自分で発見できる人の割合についても3割前後であり目標値を下回っている。

70歳代の咀嚼良好者の割合、飲み込む機能が良好な人の割合については、いずれも目標値を10%程度下回っており、今後、オーラルフレイル対策の充実等に取り組む必要がある。

札幌市生涯歯科口腔保健推進計画「さっぽろ8020推進プラン」評価

5

基本施策

歯と口の健康づくりを推進するための環境を整備します

ライフ ステージ	事業名	概要 (①実施内容、②対象、③実施場所、④その他)	実績等
乳幼児期	1歳6か月児歯科健診	①歯科健診および保健指導 ②1歳6か月児、3歳児、5歳児 ③保健センター 各区保健センターで曜日を定めて実施（実施間隔は区により異なる） 5歳児歯科健診は1歳6か月児、3歳児と合わせて実施（希望者対象）	R3 343回、11,929人
	3歳児歯科健診		R3 335回、12,406人
	5歳児歯科健診 (H26.10開始)		R3 654人
	むし歯予防教室	①歯みがき習慣の形成と食習慣の指導（集団） ②2歳頃までの幼児と保護者 ③区保健センター	R3 31回、73人
	さっぽろ8020セミナー (乳幼児編)	①むし歯予防の講話、歯みがきデモンストレーション ②乳幼児とその保護者 ③子育てサロン	R4 435人
学齢期	学校歯科健診	①歯科健康診断 ②小中学校生 ③各小中学校 ④学校保健安全法により実施	R3 在席者数 133,418人 受検者数 126,049人
	健口ノート	①第1大臼歯のむし歯予防に関する内容の小冊子作成、配布 ②小学1年生全員 ③学校から配布	R4 配布数 15,570冊
	・歯と口の健康づくり推進事業推進校の指定 ・図画、ポスターコンクール	①歯と口の健康づくり推進事業推進指定校や学校歯科保健優良校表彰への応募、歯と口の健康づくりに関する図画ポスターコンクールの実施	R4 歯と口の健康づくり推進指定校数 1小学校、1中学校 R4 学校歯科保健優良校表彰受賞数 1小学校、1中学校 R4 図画・ポスターコンクール開催
	さっぽろ8020セミナー (学童編)	①講話（永久歯を守ろう）、体験学習 ②小学生 ③児童会館	R4 51人

札幌市生涯歯科口腔保健推進計画「さっぽろ8020推進プラン」評価

5

基本施策

歯と口の健康づくりを推進するための環境を整備します

ライフ ステージ	事業名	概要 (①実施内容、②対象、③実施場所、④その他)	実績等
成人期 (妊娠期を含む)	妊産婦歯科健診	①健診、保健指導 ②妊婦および産婦(産後1年以内) ③区保健センター ④予約制	R3 98回、643人
	歯周疾患検診	①問診・口腔内診査(札幌歯科医師会委託) ②満40歳、50歳、60歳、70歳 ③市内指定歯科医療機関 ④H27年度より対象者全員に受診券を送付	R3 3,193人
	母親教室	①歯科保健指導 ②初妊婦およびその配偶者 ③区保健センター ④教室全体のプログラムの一部として実施	R3 330人
	介護予防事業(専門職派遣事業)	①口腔・栄養・身体チェック、健康相談、交流会、講話、演習 ②介護認定を受けていない65歳以上の高齢者 ③老人福祉センター ④歯科衛生士・管理栄養士や看護師などの専門スタッフが従事	R3 派遣回数 88回
	市民健康教育	①講話等 ②市民 ③区民センター・地区会館等 ④歯科医師会(各支部)の会員が講師	各区で年1回開催
	高齢期 (要介護高齢者含む)	口腔がん予防啓発	①「口腔がん予防啓発推進委員会」開催、早期発見につなげるための自己観察法を普及啓発(相談会・イベントの実施) ③地下歩行空間北2条広場、WEST19等
高齢者口腔ケア研修		①要支援・要介護高齢者の口腔の改善、機能向上のための研修会を実施 ②医療、介護関係職員 ③施設または会場	医療介護従事者研修会 5回 275人
		①口腔ケアの重要性について講習会を実施 ②一般高齢者やその家族 ③地区会館等 ④ともに札幌歯科医師会委託	一般高齢者講習会 3回 107人

札幌市生涯歯科口腔保健推進計画「さっぽろ8020推進プラン」評価

5

基本施策

歯と口の健康づくりを推進するための環境を整備します

ライフ ステージ	事業名	概要 (①実施内容、②対象、③実施場所、④その他)	実績等
障がい者	障がい者（児）歯科健診・巡回歯科保健指導	①障がい者を対象に施設での歯科健診、歯科保健指導を実施 ②施設通所者、入所者 ③障がい者施設 ④検診は札幌歯科医師会、大学歯科から歯科医師派遣、巡回歯科保健指導は保健所より派遣	R4 障がい者歯科健診 33件 282人 R4 障がい者巡回歯科保健指導 32件 322人
その他 (全てのライフ ステージ)	災害時の応急歯科医療・口腔ケア対策	④災害発生時の応急的な歯科医療及び口腔ケアに関する手引書作成	R1 手引書「札幌市大規模災害時における歯科保健活動の手引き」作成
	在宅医療を担う歯科医師の人材育成	①在宅歯科医療従事者の担う人材育成 ②歯科医師	R4 2回開催 284名
	歯科衛生士リカバリー研修	①歯科衛生士の業務復帰支援 ②離職中の歯科衛生士	R4 1回開催
	医科歯科連携	①医科と歯科が相互に情報提供する連携体制について、モデル事業も含めた構築を検討	新型コロナウイルス感染症拡大の影響により未実施
	さっぽろ8020推進員養成	①地域ボランティアの養成	